

二宮小学校だより 11月



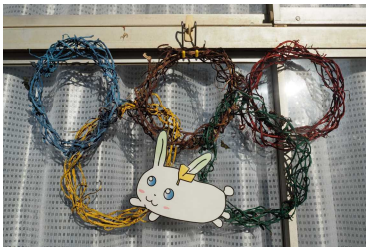
令和2年
11月30日発行

にのリンピック開催

11月12日(木)に「にのリンピック」を開催しました。例年ですと、全校による運動会を6月に実施していましたが、今年は、低学年、中学年、高学年のブロックごと、競技は、各学年とも徒競走と団体種目の計2種目での実施でした。

新しい生活様式を考え、お互いの距離を確保した上での競技、拍手中心の応援、場合によってはマスクを着用するなど、感染症への対策を講じて行いました。

子どもたちが全力を出して懸命に取り組む姿、お互いを気づかい友達と協力する姿から「にのリンピック」の意義を見出すことができました。



では、それぞれの学年の種目を紹介します。

1年生の「ダンシング玉入れ」。通常の玉入れとは違い、まず音楽に合わせてダンスをしながら笛が鳴るのを待ちます。鳴ったと同時に中心に向かってかけ寄り、玉を投げ入れます。競技の途中から1つ5点のボーナスポイントの玉が加わり、よりいっそう白熱した戦いになりました。



2年生は「だるまでGO!」。2人1組でだるまを乗せた台を持ち、それをリレーしていく伝統的な競技です。だるまを落とさないように、2人で息を合わせ、相手を気づかいながら競技を進める姿から、協力する心や優しさが伝わってきました。



3年生は「力を合わせて運びきれ」。4人1組でボールを乗せた布の四隅を持ち、落とさないようにリレーをして運びます。布の上でボールがゴロゴロと転がるので、4人が上手にバランスをとりながら前に進んでいかなければなりません。チームワーク・仲間を大切にする3年生でした。



4年生の「台風の日」。伝統的な競技です。3人1組で竹を持ち、コーンを回りながら進んでいきます。回転するときの内側の人と外側の人の役割、スピードを考えないとうまくいきません。しかし、練りに練って作戦を立て臨んだ結果、どのチームも練習の時よりタイムを大幅に縮めてゴールすることができました。



5年生は「栄光の架け橋」。チームが向かい合って並び大玉を転がしていきます。通り道を長くして競ったため、玉を送った後、進行方向に向かってダッシュをし、次の通り道をつくらなければなりません。正に「架け橋」をつくるように。チームワークを大切にする姿を見せてくれました。



最後は**6年生**による「大綱引き」。正面に向かい合わず、交互に綱を持ち、マスクを着けて引き合いました。「にのリンピック」の取りを飾るにふさわしい白熱した見ごたえのある戦いでした。全力を出し、一つのことに懸命に取り組む姿は、「にのリンピック」のねらいと重なるものでした。



